

◆令和6年度 岐阜連携都市圏ビジョン懇談会 開催概要

日 時	令和7年1月31日(金曜日)
場 所	岐阜市役所 6階 6-1 大会議室
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 連携事業の取組状況について ・第2期 岐阜連携都市圏ビジョンの第2回改定(案)について
参加委員	<p>座 長 福士 秀人(国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学)</p> <p>副座長 徳広 圭子(学校法人聖徳学園岐阜聖徳学園大学短期大学部)</p> <p>委 員 若森 信一(株式会社十六銀行)</p> <p>委 員 川瀬 勝義(岐阜信用金庫)</p> <p>委 員 川合 宗次(社会福祉法人岐阜羽島ボランティア協会)</p> <p>委 員 岩砂 典子(岐南町地域子育て支援拠点)</p> <p>委 員 久納 万里子(羽島郡二町教育委員会)</p> <p>委 員 木村 治史(公益社団法人岐阜県バス協会)</p> <p>委 員 近藤 隆郎(ぎふ農業協同組合)</p> <p>委 員 船田 淳(岐阜商工会議所)</p> <p>委 員 宇野 睦(山縣市商工会)</p> <p>委 員 河野 秀明(瑞穂市商工会)</p> <p>委 員 村瀬 勝彦(本巣市商工会)</p> <p>委 員 森 正隆(公益財団法人岐阜観光コンベンション協会)</p> <p>オブザーバー 林田 直樹(岐阜県清流の国推進部)</p>
議事概要	<p>委員からいただいた主な意見</p> <p>議事(1) 令和6年度 連携事業の取組状況について</p> <p>【既存事業の内容に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士、図書館司書、教員等の研修について、岐阜市主催の研修に参加するだけでなく、他の連携市町が開催する研修に相互に参加できるような仕組みができるとよい。 ・大地震等の災害に備え、防災分野の連携体制を強化していく必要がある。 <p>【既存事業「衛星画像と活用した漏水調査業務」について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携による経費削減が実現できていることから非常に有効な取組であるので、参加市町をさらに広げられるとよい。

【各 KPI の基準値について】

- ・ KPI の達成状況について、基準を定めた時点とは様々な情勢が変化しているため、必要に応じて基準を見直す必要があるのではないか。

議事 (2) 第 2 期 岐阜連携都市圏ビジョンの第 2 回改定 (案) について

【「地域公共交通の確保」にかかる施策 KPI の追加について】

- ・ 既存の施策 KPI である「岐阜バス (一般乗合) 乗車人数」が令和 2 年度の数值となっているが、コロナ禍における数值のため、見直す必要があるのではないか。

【既存事業「地域に適した市(町)民協働型の公共交通の形成」について】

- ・ 公共交通利用促進のための担当職員向けセミナーの合同開催や、運転手不足解消に向けた人材確保の取組を連携して実施できるとよい。
- ・ コミュニティバスのルート設定に関して、高齢者が日常生活に必要な店舗を回ることができるルートを設定することで、コミュニティバスの活用がさらに広がると考える。そういった好事例を連携市町で共有・情報交換できるとよい。

【新規事業「交通渋滞緩和施策の連携」について】

- ・ 子育てという観点からも、企業が時差出勤やリモートワークを取り入れることで、夜勤や祖父母の援助を受けられないなど様々な事情がある夫婦が、一緒に子育てができるようになるので、ぜひ連携を進めてもらいたい。

【教育関連の連携事業について】

- ・ 教科書カリキュラム共同作成、GIGA スクール構想推進、生徒指導等については、情報をひとつの市町にとどめず、圏域で情報交換することが重要であるため、非常に有効な取組である。

【新規事業「図書館の連携」について】

- ・ 司書の相互派遣や会議体の設置により図書館同士のつながりを持つこと、また、それぞれの地域の魅力を相互展示し、PR することは非常に有用である。

【今後の連携の方向性に関して】

- ・子ども子育て、福祉の分野においては、NPO 法人やボランティアなど地域の社会資源の協力が不可欠であるため、協力体制の構築や仕組みづくりに向けた連携が重要である。
- ・特定の市町が中心になるのではなく、相互に協力し合い、圏域全体で事業を進めることが、連携体制の底上げにつながる。また、行政だけにとどまらず、民間をはじめ様々な分野の協力を事業の中に取り込んでいくことが、更なる連携強化につながる。